

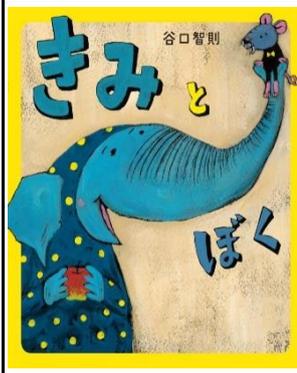
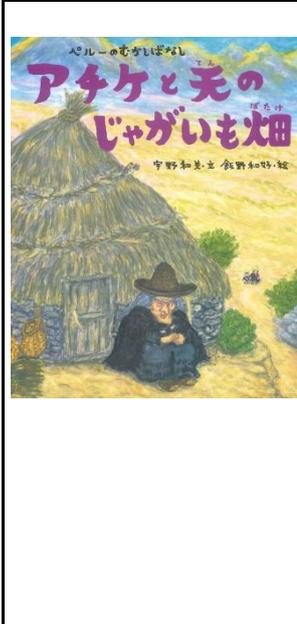
別表 1

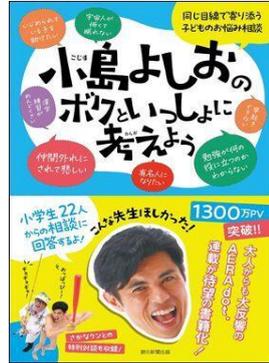
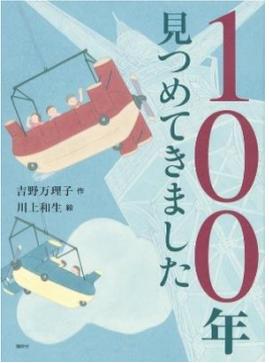
令和6年度 第2回 推薦図書一覧表

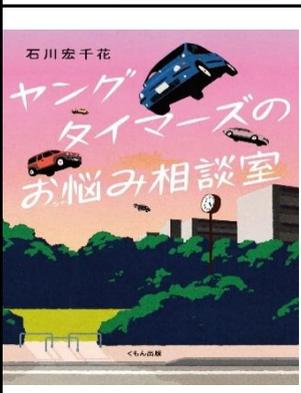
(2024-2回)

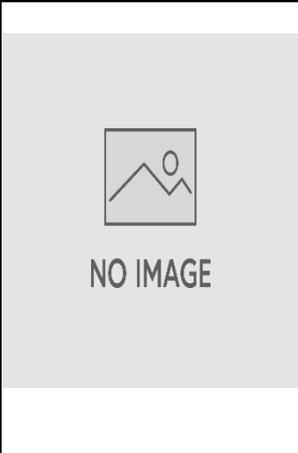
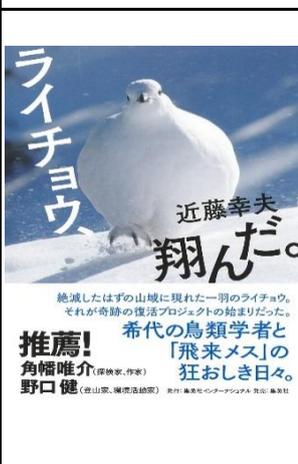
長野県社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 図書審査部会

	書名	著者名	対象	本体価格(円)	発行所・発行年月日
1	きみとぼく	作 谷口智則	幼児・小学校低学年～	1,500	文溪堂 2024年4月
2	かるがもひなちゃん おんなじおんなじ	文 かんちくたかこ 絵 箕輪義隆	幼児・小学校低学年～	1,100	アリス館 2024年3月
3	フレフレはアマガエル	文 松橋利光 写真 松橋利光	幼児・小学校低学年～	1,700	アリス館 2024年3月
4	つちたち	作 ミロコマチコ 絵 ミロコマチコ	幼児・小学校低学年～	2,000	Gakken 2024年3月
5	アチケと天のじゃがいも畑	作 宇野和美 絵 飯野和好	幼児・小学校低学年～	1,800	BL出版 2024年3月
6	小島よしおのボクといっしょに考えよう	著 小島よしお	小学校中学年～	1,400	朝日新聞出版 2023年9月
7	100年見つめてきました	作 吉野万理子	小学校中学年～	1,450	講談社 2023年11月
8	科学でナゾとき！ 黄金のへび事件	作 あさだりん 絵 佐藤おどり	小学校高学年～	900	偕成社 2024年7月
9	ひき石と24丁のとうふ	作 大西暢夫 写真 大西 暢夫	小学校中・高学年～	1,600	アリス館 2024年4月
10	おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと	著 高橋うらら 絵 はらぐちあつこ	小学校高学年～	1,600	合同出版 2024年4月
11	ブルーラインから、はるか	作 林けんじろう 絵 坂内拓	小学校高学年～	1,400	講談社 2024年5月
12	日本の伝記 知のパイオニア 小泉八雲と妖怪	著 小泉 凡 <small>小泉家、小泉凡、小泉八雲記念館、富山大学附属図書館ヘルン文庫</small>	高学年・中学生～	2,500	玉川大学出版部 2023年8月
13	アドニスの声が聞こえる	作 フィル・アール 訳 杉田 七重	中学生	1,800	小学館 2024年4月
14	オラレ！タコスクイーン	作 ジェニファー・トーレス 訳 おおつかのりこ	中学生	1,600	文研出版 2024年6月
15	6days 遭難者たち	著 安田 夏菜	中学生～	1,500	講談社 2024年5月
16	あの空の色がほしい	著 蟹江 杏	中学生～	1,800	河出書房新社 2024年6月
17	ヤングタイマーズのお悩み相談室	作 石川宏千花 絵 飯田研人	中学生	1,500	くもん出版 2024年7月
18	八秒で跳べ	著 坪田侑也	高校生～	1,700	文藝春秋 2024年2月
19	葬られた本の守り人	著 ブリアンナ・ラバスキス 訳 高橋尚子	高校生～	3,000	小学館 2024年5月
20	この窓の向こうのあなたへ	著 小手鞠るい/佐藤 まどか	高校生～	1,600	出版芸術社 2024年4月
21	大阪偕星学園キムチ部 素人高校生が漬物で全国制覇した成長の記録	著 長谷川晶一	高校生～	1,700	KADOKAWA 2024年4月
22	ライチョウ、翔んだ。	著 近藤幸夫	高校生～	2,000	集英社インターナショナル 2024年4月

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>きみとぼく</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 谷口智則</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>文溪堂</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>幼児・小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年4月</td> </tr> </table>	1		書名	きみとぼく	著者等	作 谷口智則	出版社	文溪堂	定価	2,500	対象	幼児・小学校低学年～	発行	2024年4月	<p>ぞうのパオくんとねずみのチュータくんは、とてもなかよしです。でも、二人は全然違います。パオくんは大きいけれど、チュータくんは小さいです。ある時、パオくんが大きな木に実ったリンゴの実をとりました。ところが、チュータくんはリンゴの実を一人で食べてしまいました。パオくんは悲しくて、チュータくんのそばを離れていきました。パオくんがいなくなり、チュータくんは寂しくなりました。パオくんとチュータくんは、仲直りすることができるでしょうか。全然違う二人にも、同じところがあつたのです。それは、いったい何なのでしょう。お互いを思いやることの大切さ、あたたかさを感じることができる絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
1																
書名	きみとぼく															
著者等	作 谷口智則															
出版社	文溪堂															
定価	2,500															
対象	幼児・小学校低学年～															
発行	2024年4月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>かるがもひなちゃん おんなじおんなじ</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>文 かんちくたかこ 絵 箕輪義隆</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>アリス館</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>幼児・小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年3月</td> </tr> </table>	2		書名	かるがもひなちゃん おんなじおんなじ	著者等	文 かんちくたかこ 絵 箕輪義隆	出版社	アリス館	定価	1,100	対象	幼児・小学校低学年～	発行	2024年3月	<p>かるがもの親子が行進している様子が、時々ニュースなどで取り上げられます。カルガモの巣は、天敵のイタチやカラスなどに狙われにくいよう、水辺から少し離れた所にあります。なので、卵から羽化すると食べ物のある水辺を目指して歩き始めます。ひなの背中には、左右に一つずつ丸い模様があります。それは、お互いが仲間とわかるための目印です。お母さんにも目印があります。お母さんの目印をおいにかけて行進するひなたちの前に色々な生き物が現れます。てんとうむし、あまがえる、かめに、かるがもさんにも同じものはあるのでしょうか。ひなたちののはじめての冒険の様子が描かれている絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
2																
書名	かるがもひなちゃん おんなじおんなじ															
著者等	文 かんちくたかこ 絵 箕輪義隆															
出版社	アリス館															
定価	1,100															
対象	幼児・小学校低学年～															
発行	2024年3月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ワレワレはアマガエル</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>文 松橋利光 写真 松橋利光</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>アリス館</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>幼児・小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年3月</td> </tr> </table>	3		書名	ワレワレはアマガエル	著者等	文 松橋利光 写真 松橋利光	出版社	アリス館	定価	1,700	対象	幼児・小学校低学年～	発行	2024年3月	<p>生きものカメラマンの松橋さんは、一年中、カエルのことが気になっています。そんな松橋さんが子どもの頃からとても身近に感じてきたのが、この本の主役である「アマガエル」です。私たちが、「カエル」と聞いて思い浮かべている「ジャンプが得意で、黄緑色で、目がびよこんと出ていて、口が大きくて、つるつるの壁を登ることができる」という特徴は、「アマガエル」の特徴なのだそう。それでも、まだ「アマガエル」について知らないことを知ることができます。体のしくみや産卵から、おたまじゃくし、冬眠までを、アマガエルたちの自己紹介で楽しく見せてくれます。「かえるメモ」として、さらに詳しい解説も書いてあります。松橋さんの写真がどれも美しく、「アマガエル」たちが生き生きとしています。春になって、「アマガエル」にまた出会うまでに「アマガエル」のことを詳しく知ることができる科学写真絵本。</p> <p>(分類番号 487)</p>
3																
書名	ワレワレはアマガエル															
著者等	文 松橋利光 写真 松橋利光															
出版社	アリス館															
定価	1,700															
対象	幼児・小学校低学年～															
発行	2024年3月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>つちたち</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 ミロコマチコ 絵 ミロコマチコ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>Gakken</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>幼児・小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年3月</td> </tr> </table>	4		書名	つちたち	著者等	作 ミロコマチコ 絵 ミロコマチコ	出版社	Gakken	定価	2,000	対象	幼児・小学校低学年～	発行	2024年3月	<p>この本の主人公は、「つちたち」です。黒色、茶色、金色の土たちが、「おはよう」と太陽に挨拶をしてこの本が始まります。土の中には、根っこがあつて、根っこの周りは、ちょっと湿っていてひんやりしているとか、にゆるにゆる（ミミズ）が通ると、ぐるんぐるんとかきまざるから、くすぐったいなど、土の世界の様子が様々なオノマトペと共に作者の溢れんばかりのエネルギーを感じさせる絵で表現されています。土の上を恐竜たちが走れば、ずだだん、ずだだんと音がして、まきあげられていく土たちがいます。やがて季節が変わり、冬を迎え、また春がやってきます。普段はあまりスポットライトを浴びることのない土たちが、他の生き物と生き生きと暮らしている様子を描いていて、読んでいると元気が出てくる絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
4																
書名	つちたち															
著者等	作 ミロコマチコ 絵 ミロコマチコ															
出版社	Gakken															
定価	2,000															
対象	幼児・小学校低学年～															
発行	2024年3月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>アチケと天のじゃがいも畑</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 宇野和美 絵 飯野和好</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>BL出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>幼児・小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年3月</td> </tr> </table>	5		書名	アチケと天のじゃがいも畑	著者等	作 宇野和美 絵 飯野和好	出版社	BL出版	定価	1,800	対象	幼児・小学校低学年～	発行	2024年3月	<p>昔、ある貧しい村に女の子と小さい弟がいました。お父さんがいなくて、お母さんも病気で死んでしまい、二人きりになってしまいました。「おなかがすいた」と言って弟が泣いた時に、女の子は、じゃがいもの花をくわえた小鳥を見つけました。小鳥を追いかけて村はずれまで来ると、一軒の家があり、そこにはおばあさんがいました。おばあさんは、ご飯を食べさせてくれたのですが、実は子どもをおそうアチケという恐ろしい魔女だったので。女の子は弟を連れてアチケから逃げます。途中で、コンドルやピューマやスカンクが二人をアチケから守ってくれます。その度に、女の子はコンドルやピューマやスカンクが今後食べることに困ることがないようにとお祈りをしてから、逃げていきました。もうこれ以上走れなくなった二人が、神様に助けを求めると・・・ペルーの首都リマの北方にあるアンカシュ県で採集されたお話をもとに、他にもアチケの類話や子どもたちの服装やアチケの家や風景について調べた上で、山国育ちの飯野和好さんが資料をもとに力のこもった挿絵を描いています。古くから、飢えに対する切実な願いと祈り、自然の恵みへの感謝があつたことが伝わってくる、ペルーに伝わる昔話絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
5																
書名	アチケと天のじゃがいも畑															
著者等	作 宇野和美 絵 飯野和好															
出版社	BL出版															
定価	1,800															
対象	幼児・小学校低学年～															
発行	2024年3月															

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>小島よしおのボクといっしょに考えよう</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 小島よしお</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>朝日新聞出版</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年9月</td></tr> </table>	6		書名	小島よしおのボクといっしょに考えよう	著者等	著 小島よしお	出版社	朝日新聞出版	定価	1,400	対象	小学校中学年～	発行	2023年9月	<p>お笑い芸人の小島よしおさんが1年生から6年生までの小学生からの22の相談に答えている。「何のために学校に行くの?」「友だちのつくり方がわからない」といったものから「天国と地獄は本当にあるの?」「宇宙人が怖くて眠れない」なんてものまで、誰もが一度は考えたことがあるだろう疑問に小島よしおさんが自身のギャグを交えながら丁寧に寄り添いながら答えてくれている。悩んでいて、でも誰に相談していいか悩んだときに開いてほしい本。</p>
6																
書名	小島よしおのボクといっしょに考えよう															
著者等	著 小島よしお															
出版社	朝日新聞出版															
定価	1,400															
対象	小学校中学年～															
発行	2023年9月															
(分類番号 159)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>100年見つめてきました</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 吉野万理子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>講談社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,450</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年11月</td></tr> </table>	7		書名	100年見つめてきました	著者等	作 吉野万理子	出版社	講談社	定価	1,450	対象	小学校中学年～	発行	2023年11月	<p>奈良県生駒市の生駒山のとっぺんには2029年に開業100周年を迎える「生駒山上遊園地」がある。そこには開業当時から子どもたちを楽しませている日本最古の大型遊具「飛行塔」が今でも現役で活躍している。しかし、飛行塔が見てきたのは子どもたちの笑顔だけではない。戦争によって家族を失った子どもたち、空襲で焼ける町、巻き込まれる動物たち、変わっていく生活……それは決して忘れられない景色だった。地上642mからの平和への願いをつづった物語。</p>
7																
書名	100年見つめてきました															
著者等	作 吉野万理子															
出版社	講談社															
定価	1,450															
対象	小学校中学年～															
発行	2023年11月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>科学でナゾとき! 黄金のへび事件</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 あさだりん 絵 佐藤おどり</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>偕成社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>900</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2024年7月</td></tr> </table>	8		書名	科学でナゾとき! 黄金のへび事件	著者等	作 あさだりん 絵 佐藤おどり	出版社	偕成社	定価	900	対象	小学校高学年～	発行	2024年7月	<p>自称パーフェクトな児童会長の彰吾には絶対に知られたくない秘密がある。それは彰吾の父親が、変人理科教師・キリン先生だということ。それは夏休み中でも同じだ。彰吾や児童会のメンバーをはじめとする友人たちは、夏休み中にそれぞれ不思議な事件に遭遇する。その一つが、神社で黄金に光るへびを見つけたというものだった。彰吾は友達の和也と黄金のへびの正体にせまる。科学の力でナゾを解き明かしていく連作短編集。</p>
8																
書名	科学でナゾとき! 黄金のへび事件															
著者等	作 あさだりん 絵 佐藤おどり															
出版社	偕成社															
定価	900															
対象	小学校高学年～															
発行	2024年7月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ひき石と24丁のとうふ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 大西暢夫</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>アリス館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中・高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2024年4月</td></tr> </table>	9		書名	ひき石と24丁のとうふ	著者等	作 大西暢夫	出版社	アリス館	定価	1,600	対象	小学校中・高学年～	発行	2024年4月	<p>岩手県二戸市浄法寺町の山の中に一軒の豆腐屋さんがある。この小山田豆腐店で手作り豆腐を作っているのは、90歳になる小山田ミナさんだ。ミナさんは細く小さな体で6時間かけて石臼で大豆を挽く。幼いときに両目が見えづらくなったミナさんは音と力加減で大豆の状態を理解し、木がぶつかる音で薪の種類を当ててしまう。機械を一切使わずに作るその豆腐に魅せられて、様々な人が小山田豆腐店を訪れ、「おいしい!」と豆腐を食べて笑って帰っていく。ミナさんにしかできない誇り高い仕事だ。写真で綴るノンフィクション絵本。</p>
9																
書名	ひき石と24丁のとうふ															
著者等	作 大西暢夫															
出版社	アリス館															
定価	1,600															
対象	小学校中・高学年～															
発行	2024年4月															
(分類番号 619)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 高橋うらら 絵 はらぐちあつこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>合同出版</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2024年4月</td></tr> </table>	10		書名	おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと	著者等	著 高橋うらら 絵 はらぐちあつこ	出版社	合同出版	定価	1,600	対象	小学校高学年～	発行	2024年4月	<p>家族で満州に渡ったとき、和子さんはまだ4歳だった。満州で弟の亮一くんが生まれ、家族が新たな土地での暮らしに慣れてく一方で、戦争は次第に激化していく。和子さんが6年生になったとき、満州も戦地となる。家族で着の身着のまま逃げ出し帰国許可を待つが、その間に亮一くんが重い病にかかってしまう。やせ細った亮一くん到最后にお砂糖が食べたいと言われるが、当時貴重だった砂糖などどこにもない。和子さんがやっと見つけたのは砂糖がまぶされたねじりパンだった。和子さんご本人から聞き取った体験をまとめた物語。</p>
10																
書名	おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと															
著者等	著 高橋うらら 絵 はらぐちあつこ															
出版社	合同出版															
定価	1,600															
対象	小学校高学年～															
発行	2024年4月															
(分類番号 210)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ブルーラインから、はるか</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 林けんじろう</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>講談社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2024年5月</td></tr> </table>	11		書名	ブルーラインから、はるか	著者等	作 林けんじろう	出版社	講談社	定価	1,400	対象	小学校高学年～	発行	2024年5月	<p>6年生のコタこと藤森庫汰郎はとある理由で市立図書館に入りびたっている。コタはここで同じように図書館に入りびたっているあいつ、榊原風馬のことが気になっている。それまでコタのことをまったく相手にしていなかった風馬がある日「もしひまだったら、ぼくの自由研究につきあってほしいんだ」と声をかけてくる。自由研究とは、広島県尾道市から愛媛県今治市までをつなぐ全長70kmのしまなみ海道ブルーラインを往復することだった。小6と小4の少年がママチャリとクロスバイクで夏の日差しの中を駆け抜ける。まぶしく、さわやかな少年たちの物語。</p>
11																
書名	ブルーラインから、はるか															
著者等	作 林けんじろう															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	小学校高学年～															
発行	2024年5月															
(分類番号 913)																

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">12</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>日本の伝記 知のパイオニア 小泉八雲と妖怪</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 小泉 凡 <small>小泉家、小泉凡、小泉八雲記念館、富山大学附属図書館ヘルン文庫</small></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>玉川大学出版部</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高学年・中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年8月</td> </tr> </table>	12		書名	日本の伝記 知のパイオニア 小泉八雲と妖怪	著者等	著 小泉 凡 <small>小泉家、小泉凡、小泉八雲記念館、富山大学附属図書館ヘルン文庫</small>	出版社	玉川大学出版部	定価	2,500	対象	高学年・中学生～	発行	2023年8月	<p>「耳なし芳一」などの怪談で知られる、小泉八雲（英語名パトリック・ラフカディオ・ハーン）の波乱万丈の人生を、ひ孫である著者が語る伝記。アイルランド人の父とギリシャ人の母の間に生まれるが、父親はほぼ不在、幼い頃に親戚に預けられ各国を転々としたのち19歳で移民として渡米。やがて出版社でジャーナリストとして活躍し、39歳で記者として来日した。松江で英語教員の職に就くと、妻の小泉セツの協力のもと再話した怪談作品や紀行文など生涯で約30冊の本を出版した。自然と共に生きる日本人の文化と怪談の魅力を、海外にも広く紹介している。八雲の気持ちになって語られる生涯とともに紹介されている怪談や、日本の学校教育についての言及も興味深い1冊だ。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 930(289))</p>
12																
書名	日本の伝記 知のパイオニア 小泉八雲と妖怪															
著者等	著 小泉 凡 <small>小泉家、小泉凡、小泉八雲記念館、富山大学附属図書館ヘルン文庫</small>															
出版社	玉川大学出版部															
定価	2,500															
対象	高学年・中学生～															
発行	2023年8月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">13</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>アドニスの声が聞こえる</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 フィル・アール 訳 杉田 七重</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年4月</td> </tr> </table>	13		書名	アドニスの声が聞こえる	著者等	作 フィル・アール 訳 杉田 七重	出版社	小学館	定価	1,800	対象	中学生	発行	2024年4月	<p>舞台は第二次世界大戦中、空襲警報が鳴り響くロンドン。子どもたちが戦火を逃れ田舎へと疎開していくなか、ジョーゼフは北の町からやって来た。祖母の知り合いの、動物園経営者のミセスFと暮らすことになったのだ。ある事情から勉強がうまくいかないジョーゼフは、同級生や厳しい校長から理解されずに追い詰められ、孤独に苦しむ。そんなジョーゼフに手を差し伸べる少女、シドがいた。仕事として任されたのはゴリラのアドニスの世話。戸惑いながらもやがてお互いを受け入れ合い、絆を感じられるまでになる。しかし空襲が激化、役所がアドニスに下した決定はあまりに衝撃的なものだった。戦時下（日本も例外ではない）の動物園で起た、忘れてはいけない心に響く物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
13																
書名	アドニスの声が聞こえる															
著者等	作 フィル・アール 訳 杉田 七重															
出版社	小学館															
定価	1,800															
対象	中学生															
発行	2024年4月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">14</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>オラレ! タコスクィーン</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 ジェニファー・トーレス 訳 おおつかのりこ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>文研出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年6月</td> </tr> </table>	14		書名	オラレ! タコスクィーン	著者等	作 ジェニファー・トーレス 訳 おおつかのりこ	出版社	文研出版	定価	1,600	対象	中学生	発行	2024年6月	<p>主人公のステフは13歳の女の子。両親は十代でアメリカにきたメキシコ系移民で、家では英語のほかスペイン語も飛び交っている。パパの美味しいタコス売るキッチンカー「ペルラおばさん」は小学生の頃はステフにとって自慢の車だったが、中学生になった今、学校の駐車場に迎えに来ている「ペルラおばさん」を見ると複雑な気持ちになる。最近は両親の過保護も重く感じられ、もう少し自由が欲しいと思っている。そんな時、憧れのアーティストのコンサートチケットが手に入る。だが、心配性の両親が土曜の夜のコンサートに行くことを許してくれるのか？親友のアマンダと作戦を立て、自立をアピールし信用を得ようと頑張るが・・・。爽やかな成長の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
14																
書名	オラレ! タコスクィーン															
著者等	作 ジェニファー・トーレス 訳 おおつかのりこ															
出版社	文研出版															
定価	1,600															
対象	中学生															
発行	2024年6月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>6 days 遭難者たち</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 安田 夏菜</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年5月</td> </tr> </table>	15		書名	6 days 遭難者たち	著者等	著 安田 夏菜	出版社	講談社	定価	1,500	対象	中学生～	発行	2024年5月	<p>高校一年の美玖、亜里沙、由真、それぞれの理由を抱えた3人が一緒に山に登ることになる。体力自慢で登山部に入ったものの、地図や天気図の勉強に挫折して3か月で退部していた美玖だったが、2人に頼られ登山計画を立てる。初心者でも登れる夏の低山を選び、計画通りに登頂できた3人だったが、下山の計画を変更したことで道を見失い、遭難してしまう。携帯の電波が途切れ、電池の残量も少なくなる。持参した食料は尽き、野宿の果てに体調にも異変が起きる。極限状態にトラブルが続く展開に緊張が止まらない。果たして全員生還できるのか？本書監修の長野県山岳遭難防止アドバイザー羽根田治氏による「遭難を防ぐための五か条」が巻末に掲載されている</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
15																
書名	6 days 遭難者たち															
著者等	著 安田 夏菜															
出版社	講談社															
定価	1,500															
対象	中学生～															
発行	2024年5月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">16</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>あの空の色がほしい</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 蟹江 杏</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>河出書房新社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年6月</td> </tr> </table>	16		書名	あの空の色がほしい	著者等	著 蟹江 杏	出版社	河出書房新社	定価	1,800	対象	中学生～	発行	2024年6月	<p>小学4年生のマコは屋根の上に巨大な靴があり、庭に置かれた不思議な彫刻や不思議な植物がある風変わりな家を見つけ、犬形の呼び鈴を鳴らす。絵を描くことが大好きなマコは「フローレンス美術教室」という看板に惹かれたのだ。ところが、出てきたのは見るからに風変わりな「おっさん」だった。大きな賞をとったこともあるらしい彫刻家のおっさん先生は、マコと友達のユウちゃんに絵を教え始め、マコの両親とも交流が始まる。独特の感性を持つマコを見守る両親の大きな愛情には心を動かされる。著者は画家であり、絵本の著作がある。初の小説となる本作の登場人物たちには実在のモデルがいる。芸術とは？と考えさせられながら、自分も絵が描きたくなるような物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
16																
書名	あの空の色がほしい															
著者等	著 蟹江 杏															
出版社	河出書房新社															
定価	1,800															
対象	中学生～															
発行	2024年6月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">17</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ヤングタイマーズのお悩み相談室</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 石川宏千花 絵 飯田研人</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>くもん出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年7月</td> </tr> </table>	17		書名	ヤングタイマーズのお悩み相談室	著者等	作 石川宏千花 絵 飯田研人	出版社	くもん出版	定価	1,500	対象	中学生	発行	2024年7月	<p>俳優の皆吉黛生とミュージシャン八十色類が始めたラジオ番組。番組に寄せられた悩みについて2人の大人がゆるく語りあうなかで、何かしらのヒントや気づきがあればいいという、「ヤングタイマーズのお悩み相談」コーナーでは、中学生からの投稿を募集中だ。悩みがないことに悩む中1の果淋、友だちができない中2の須田、「なにもやりたくない病」の志帆など、それぞれ悩みを抱える6人の中学生。番組に悩みを投稿したり、偶然聞こえてきたラジオの声に耳を傾けたりと様々な形で黛生と類のメッセージに触れ、心が軽くなる。真摯でありながらも軽妙で押しつけがましきのない大人のトークが爽やかで、中学生とラジオという組み合わせも新鮮な一冊。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
17																
書名	ヤングタイマーズのお悩み相談室															
著者等	作 石川宏千花 絵 飯田研人															
出版社	くもん出版															
定価	1,500															
対象	中学生															
発行	2024年7月															

	<p>18</p> <p>書名 八秒で跳べ</p> <p>著者等 著 坪田侑也</p> <p>出版社 文藝春秋</p> <p>定価 1,700</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年2月</p>	<p>明鹿高校2年生の宮下景は、春高バレーの予選まであと数日のところで怪我をしてしまう。実は怪我をする前夜、高校のフェンスを乗り越えようとしていた真島綾に驚いて、自転車で転んだ景は足首を痛めていた。景の代わりに出場にすることになったのは、退部届を出そうとしていた中学時代からのクラスメイト北村だった。難なくレギュラーになり、バレーに対して情熱はなく冷めていた景と、漫画が描けずスランプに悩む真島。楽しくてずっと続けてきたことがいつからか苦しくなってしまった二人の交流は、それぞれの葛藤の中に変化をもたらす。今まで意識していなかった仲間、ライバル、家族の存在を感じ、自分を見つめなおした景はどう行動し、考え、証明するのか。バレーに青春を賭ける、挫折と再生の物語。</p>
	<p>19</p> <p>書名 葬られた本の守り人</p> <p>著者等 著 ブリアンナ・ラバスキス 訳 高橋尚子</p> <p>出版社 小学館</p> <p>定価 3,000</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年5月</p>	<p>1933年ベルリン、文化交換プログラム参加のためドイツに招待されたアメリカ人で新人作家のアルシアは、ナチスに洗脳された学生らによる焚書を目撃する。1936年パリ、ドイツから逃れ「焚書された本の図書館」に勤めるユダヤ人のハンナは、ファシズムが欧州全土に台頭する波にのまれていく。そして1943年ニューヨーク、戦地の兵士に送る「兵隊文庫」のに従事する戦時図書審議会広報部長のヴィヴは、検閲を推し進める議員に抗いその危機から本を守ろうと奔走する。3人の女性たちが絶望の中から時代と国を超えて繋がり、本を守るために立ち上がる。「兵隊文庫」などの史実や実在の人物を織り交ぜながら、人々の生きる道のあり方と本の持つ力を伝えてくれるビブリオ小説。</p>
	<p>20</p> <p>書名 この窓の向こうのあなたへ</p> <p>著者等 著 小手鞠るい/佐藤 まどか</p> <p>出版社 出版芸術社</p> <p>定価 1,600</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年4月</p>	<p>アメリカのニューヨークに住む小手鞠るいさんが、イタリアのトスカーナに住む佐藤まどかさんへ宛てたラブレターから始まる往復書簡。海外に住む児童文学作家であるふたりは、お互いの作品を通じて出会う。小手鞠さんは恋愛小説家から児童文学を書くようになり、佐藤さんは娘のために書いた物語がきっかけでYA作家になる。ふたりが手紙で語り合うのは、仕事、旅、子どもの頃のこと、今の子どもたちをとりまく環境、ジェンダーなど多岐にわたる。そして、海外に住んでいるからこそ見える日本社会について、かつて子どもだった人や未来の大人に伝えたいこと。お互いをリスペクトし合いながら、熱く語り合う。書簡の中に登場する、それぞれの著書の交換書評が掲載されているのも魅力的。</p>
	<p>21</p> <p>書名 大阪借星学園キムチ部 素人高校生が漬物で全国制覇した成長の記録</p> <p>著者等 著 長谷川晶一</p> <p>出版社 KADOKAWA</p> <p>定価 1,700</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年4月</p>	<p>大阪市生野区にある大阪借星学園には「キムチ部」がある。本場韓国にも存在しない世界で唯一のユニークな部活だ。発案者は学園の窮地を救うため召集された、理事長の息子太田尚樹専務理事。2021年12月の学校説明会で宣言された「キムチ部」創部に顧問として名乗りを上げたのが沖田先生。そして、生徒会室で切り出した「キムチ部」の話に手を挙げたのが当時1年生の栗川大輝と楊颯太で、それぞれ部長と副部長として4月に1年生を迎える。生徒や先生だけでなく、地域や企業、テレビ局など「キムチ部」に関わる人たちとの交流が絶妙な化学変化を起こし、創部1年で「漬物グランプリ2023」学生の部グランプリを受賞する。どこにでもいる普通の高校生たちが、キムチに出会い人生を変えていくノンフィクション。</p>
	<p>22</p> <p>書名 ライチョウ、翔んだ。</p> <p>著者等 著 近藤幸夫</p> <p>出版社 集英社インターナショナル</p> <p>定価 2,000</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年4月</p>	<p>2018年7月、絶滅したはずの中央アルプスに半世紀ぶりに一羽のメスのライチョウが飛来した。このメスはどこからやってきたのか？のちに乗鞍岳から40キロも飛んできたことと判明するこの「飛来メス」をきっかけに、中央アルプスで「ライチョウ復活作戦」がスタートする。近年ライチョウの生息数が急激に減り、絶滅の危機に直面していた。原因は、ライチョウが生息する高山帯の環境変化。2015年8月には、北アルプスの東天井岳でニホンザルがライチョウのヒナを捕食したというショッキングな事件が報じられる。信州大学名誉教授で世界的なライチョウ研究者である中村浩志氏が中心となり、環境省の保護増殖事業のもと、アイデアを駆使しライチョウ復活に奮闘する様子取材したドキュメンタリー。</p>